

CP710

スプリングピン(高精度型)

標準
在庫品

RHS

イマコ
WEB 製品ムービー公開

IMAO



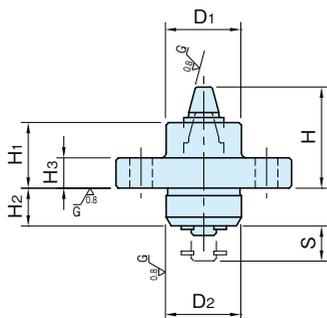
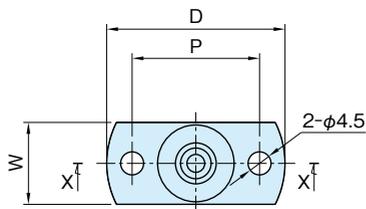
CP710-A
(標準タイプ)



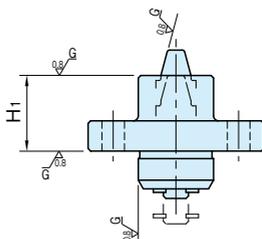
CP710-B
(サポータータイプ)

★One Point
アルミダイカストの鑄抜き穴位置決めに最適

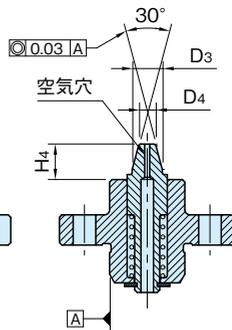
本体	ピン
S45C 焼入焼戻 四三酸化鉄皮膜	SK95 焼入焼戻



CP710-A
(標準タイプ)



CP710-B
(サポータータイプ)



断面 X-X

■標準タイプ

品番	適用注) 位置決め穴径	D ₄	D ₃	H ₄	S	H	H ₁	D ₂ (g6)	H ₂	D
CP710-04015A	φ 3.8~φ 5.2	3.1	6	7.6	7.4	20.6	13	15	7.5	35
CP710-05015A	φ 4.8~φ 6.2	4.1	7							
CP710-06020A	φ 5.8~φ 8.2	5.1	9	9.6	9.9	27.6	18	20	10	40
CP710-08020A	φ 7.8~φ 10.2	7.1	11							
CP710-10025A	φ 9.3~φ 12.7	8.6	13.5	11.6	12.4	34.6	23	25	12.5	45
CP710-12025A	φ 12.3~φ 15.7	11.6	16.5							

品番	D ₁	W	H ₃	P	持上力 (N)	バネ定数 (N/mm)	質量 (g)
CP710-04015A	15	16	6	25	5.8~20	2.54	45
CP710-05015A							
CP710-06020A	20	22	8	30	4.8~21.3	2.18	95
CP710-08020A							
CP710-10025A	25	26	10	35	8.6~21.1	1.3	160
CP710-12025A							170

■サポータータイプ

品番	適用注) 位置決め穴径	D ₄	D ₃	H ₄	S	H	H ₁ (±0.01)	D ₂ (g6)	H ₂	D
CP710-04015B	φ 3.8~φ 5.2	3.1	6	5.6	7.4	20.6	15	15	7.5	35
CP710-05015B	φ 4.8~φ 6.2	4.1	7							
CP710-06020B	φ 5.8~φ 8.2	5.1	9	7.6	9.9	27.6	20	20	10	40
CP710-08020B	φ 7.8~φ 10.2	7.1	11							
CP710-10025B	φ 9.3~φ 12.7	8.6	13.5	9.6	12.4	34.6	25	25	12.5	45
CP710-12025B	φ 12 ~ φ 16	11.6	16.5							

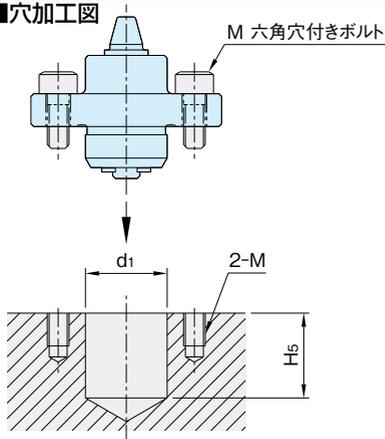
品番	D ₁	W	H ₃	P	持上力 (N)	バネ定数 (N/mm)	質量 (g)
CP710-04015B	15	16	6	25	5.8~20	2.54	50
CP710-05015B							
CP710-06020B	20	22	8	30	4.8~21.3	2.18	100
CP710-08020B							
CP710-10025B	25	26	10	35	8.6~21.1	1.3	170
CP710-12025B							

注) 適用穴径の範囲内では、ワーク側の位置決め穴の面取りは、最大C1まで対応できます。



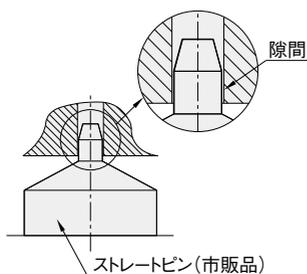
使用例・使用方法

■穴加工図

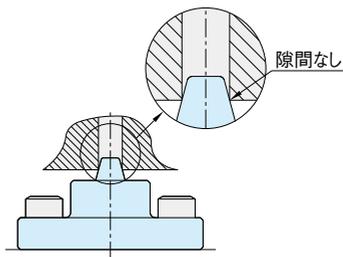


サイズ	d ₁ (H7)	H ₅	M
CP710-04015	15	16	M4×0.7
CP710-05015	(H7公差の有効深さ 8)		
CP710-06020	20		
CP710-08020	(H7公差の有効深さ10)	21	
CP710-10025	25		
CP710-12025	(H7公差の有効深さ13)	26	

〈従来方式〉

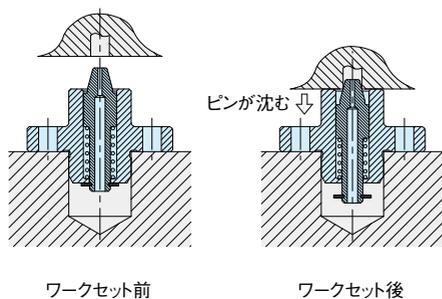


〈スプリングピン〉



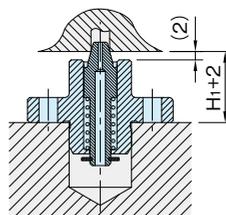
テーパピン部で位置決めを行いますので、ワークとのガタツキが無く位置決めが行えます。

■サポータータイプの場合

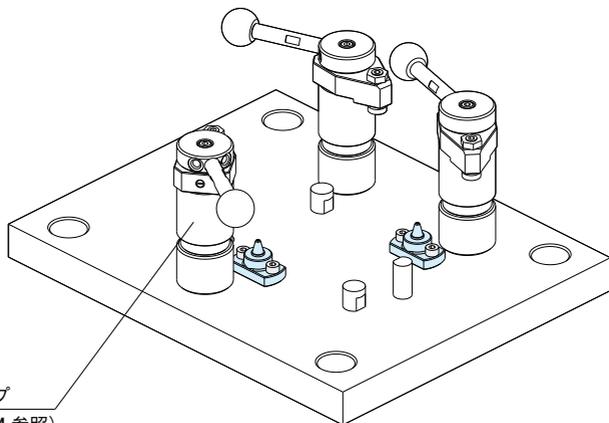
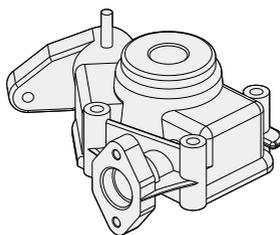
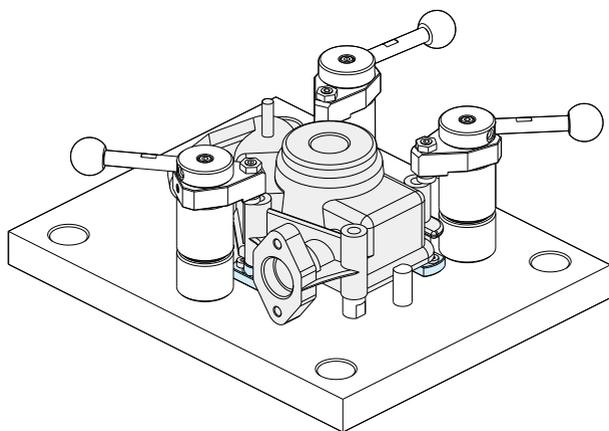


テーパピンが沈み込みワークを位置決めします。
サポータータイプは高さ方向の位置決めも行えます。

■標準タイプの場合



標準タイプを使用する場合、ワークまでの隙間を
2mmに設定してください。
別途サポーターをご用意ください。



スイングクランプ
QLSW (P. 1364 参照)

注)ワークはスプリングピンの持上力でサポーターより浮いた状態になりますので、手で押さえてクランプを行ってください。